

## 2015 年会計年度 事業報告

(2015 年 4 月 1 日 - 2016 年 3 月 31 日) 【】内は参加人数

2015 年度は事業計画に示したとおり、「会員一人に新会員一人」を獲得するキャンペーンを展開し会員の方々にご協力をいただいた。これにより前年度の新入会員数を凌ぐ新会員を迎え入れたものの、退会者数 24 名と同数で純増とはならなかった。

当該年度はシンガポール建国 50 周年、2016 年度は日本・シンガポール外交関係樹立 50 周年に当たることから、これを記念する行事を決定した。協会としての記念行事を、(1) 記念講演会、(2) シンガポール・シニア・ゴルファーズ・ソサイエティ (SSGS) との交流会、(3) 合唱部 (JCT) のシンガポール現地におけるジョイント・コンサート、(4) シンガポール・マラソンへの参加者募集促進の一翼を担うこと、と定め、実現へのステップを踏んできた。それぞれ日本・シンガポール外交関係樹立 50 周年の記念事業となる「SJ50」の認定申請を行うこととした。

協会イベントはほぼ例年と同様の行事を開催できた。ただ、イベントの中には、その反省点から、毎年開催を見直して翌年度の開催を見合わせたものもあった。年 4 回発行予定の季刊誌は、原稿の集まり具合、発行までの時間的制約等の事情から 1 回を合併号とし年 3 回の発行とせざるを得なかった。次年度は特に記念行事を中心とした活動による時間的制約もないではないが、主に協会財政の実情の観点から発行回数の減も検討の要がある。

このほか、前年度から取り組んでいたホームページの一新を行った。会計データ計上のアウト・ソーシング化を図った。

### 1、調査研究事業

2015 年版「シンガポール共和国の概況」について、前年度同様会員サービスの一環として全員に配布した。今後も年 1 回ペースで改訂版の発行を予定する。

### 2、親善交流事業

会員相互の親睦、シンガポールとの交流を図るため下記を開催した。

- 1) 「シンガポール日本人学校 OB/OG 同窓会」(2015/06/20) 【91 名】【コーラス部の演奏あり】
- 2) 「アフタヌーン・ティ・サロン」(2015/07/07) 【80 名】(前年度 109 名)
- 3) 「懇親ゴルフ大会」(2015/10/06) 【39 名】、(2016/03/16) 【39 名】  
(共に大使館側からも参加いただいた)
- 4) シンガポール日本人会スピーチコンテスト優勝者のホームステイを受け入れた。  
(実質は会員の方にホスト・ファミリーとして受け入れいただいた。10 月 16 日～18 日)
- 5) 例年通りシンガポール JCCI からの留学生 2 名の日本滞在支援を行った。
- 6) 「ゲット・トゥゲザー」(2015/11/30) 【71 名】(前年度 67 名)
- 7) 「初笑い落語と懇親の集い」(2016/01/26) 【58 名】(前年度 62 名)
- 8) 「関西シンガポール同窓会」(2015/08/07) 【19 名】、(2016/02/05) 【16 名】
- 9) 「日本香港協会との懇親会」(2015/10/01)

### 3、セミナー・講演事業

下記講演会を開催した。

- 1) 「あれこれ思うこと ～シンガポール建国 50 周年に際して～」 榎田邦彦大使  
(2015/06/06 第 45 回定例総会：住友化学㈱参宮寮) 【47 名】
- 2) 豊洲文化センター：5 回講座「シンガポールを楽しむアラカルト」(2015/10/30～2016/01/15)
- 3) その他講師派遣・講演依頼に対応した(略)

### 4、出版事業

前年度に引き続き「シンガポール企業経営ガイド」、「シンガポール会社法 Q&A」、「シンガポールの華人社会」、「シンガポール PAP 政権」、「ハローシンガポール」等の書籍を販売した。

### 5、広報事業

- 1) 季刊誌「シンガポール」は 1 回を合併号としたため 3 回の発行となった。月 2 回シンガポール情報をメールにて配信した。
  - 2) 合唱団 (JCT) 「ファミリーコンサート」(2015/12/13 浴風園ホール)
  - 3) ホームページを一新した。更新のための研修会を開催した。
- 4) 公共性・公益性の高いイベントについて、依頼により「後援」を行った。以上

## 2016 年会計年度 事業計画

(2016 年 4 月 1 日 - 2017 年 3 月 31 日)

本年度は日本・シンガポール外交関係樹立 50 周年に当たることから、これを記念する行事として、(1) 記念講演会、(2) シンガポール・シニア・ゴルファーズ・ソサイエティ (SSGS) との交流会、(3) 合唱部 (JCT) のシンガポール現地におけるジョイント・コンサート、(4) シンガポール・マラソンへの参加者募集促進の一翼を担うこと、を前年度に決定した。関係各機関と実現に向け鋭意取組みを進めている。(2)、(3) はシンガポール現地にて実施し、うち従来の秋の懇親ゴルフは上記 (2) に吸収する。このほかのイベントは原則前年度どおりとするも、「シンガポール日本人学校 OB・OG 同窓会」については、これまでの運営の内容・方法では卒業生幹事の負担が大き過ぎ、大幅な見直しが必要と判断されたことなどから、本年度は開催を見合わせることにした。

引き続き会員サービスの充実を図る。会員増は本年度も最重点項目であり、前年度からの「会員一人に新会員一人」のキャンペーンを続行する。会員各位のご協力を仰ぎたい。

広報事業の季刊誌発行については、これまで年 4 回の発行を維持してきたが、協会財政の観点からは発行回数の減、例えば年 3 回への見直しを図ることは急務と言える状況にある。季刊誌内容の質を維持しつつ年 3 回の発行とする。

以上のように、本年度は記念行事を中心とする活動となるが、シンガポールとの諸分野における交流を一層深化すべく、内外の各機関との連携を継続、強化するよう努める。

本年度は下記の事業を計画し実行する。

### 1、会員増強活動の継続・強化

「会員一人に新会員一人」というキャンペーンを継続し、新規会員の増強に努める。

### 2、各種事業活動の推進

#### 2-1、調査研究事業

「シンガポール共和国の概況」の編集・発行を継続する。過年度に引き続き、今年度も会員全員に配布を計画する。進出予定企業等からなど個別の問い合わせに関しては、シンガポール現地の関係機関とも連絡確認を密に取りながら対応する。

#### 2-2、親善交流事業

冒頭記述のとおり、記念行事を中心として活動を行う。会員相互間の交流が図れる場として、アフタヌーンティー・サロン、ゲット・トゥゲザー等の開催を昨年度同様に企画する。落語会等を引き続き開催する。ただし、シンガポール日本人学校 OB&OG 懇親会と秋の懇親ゴルフ会については冒頭の記述のとおりとする。

シンガポールに関連する諸機関、他地域の同種協会その他の友好親善団体との交流を引き続き図る。

#### 2-3、セミナー講演会事業

会員のために有益な記念講演会を企画し実施する。本年度は、冒頭の記述のとおり協会の「SJ50」として、記念講演会を開催する。また、青少年層の国際化支援のため、大学や高校へ引き続き積極的に講師の派遣やインターンシップの斡旋等に務める。

#### 2-4、出版事業

シンガポールに関する研究をはじめ、シンガポール進出に関し、地方自治体や中堅企業のニーズに対応して、シンガポール及び周辺の歴史や、会社設立・経営・税務に係る書籍等の提供と情報サービスを展開する。

#### 2-5、広報事業

季刊誌「シンガポール」については冒頭記述のとおりであるが、質的に高い内容で継続することが、会員サービスの核であることを認識して取り組む。シンガポール・アセアン情報のメールによる定期配信を継続する。また、シンガポール日本人会、シンガポール日本商工会議所、日本におけるシンガポール政府関連の出先機関との連携を深め、内外において友好関係増進のための広報活動をより積極的に行う。以上